



発行／長野県議会 編集／長野県議会広報委員会

| 【党派等議員数】                    |     |
|-----------------------------|-----|
| 定数                          | 57人 |
| 自由民主党県議団                    | 24人 |
| 改革・信州                       | 13人 |
| 新政策議員団                      | 7人  |
| 公明党長野県議団                    | 5人  |
| 日本共産党県議団                    | 5人  |
| 無所属                         | 2人  |
| 現員56人(欠員1人)<br>(令和7年8月1日現在) |     |

令和7年6月定例会(6月19日～7月4日)の概要

知事から令和7年度一般会計補正予算案や「長野県県税条例の一部を改正する条例案」などの議案が提出されました。

本会議での一般質問(30名)や委員会審査では、物価高騰対策、人材育成、安全・安心な暮らし、学びの充実など、様々な課題について活発に議論しました。

審議の結果、今般策定された「長野県物価高騰・米関税措置支援パッケージ1.0」に基づき、県民の確かな暮らしを守るとともに、当面の経営環境変化への対応や中長期的な経営基盤強化・構造転換に向けた支援策を拡充するほか、地域公共交通の維持・活性化などに必要な予算を盛り込んだ総額38億5,661万円余の令和7年度一般会計補正予算案など26件を原案どおり可決、同意又は承認しました。

議員提出議案は、13件の意見書案が可決され、1件が否決されました。

可決した議員提出議案一覧

意見書は国に提出し、実現を求めました。

- ・大規模災害から住民の命を守るために消防団員の確保を求める意見書
- ・沖縄戦戦没者の遺骨収集の着実な推進を求める意見書
- ・米の安定供給及び生産基盤強化を通じた食料安全保障の確保を求める意見書
- ・地方財政の充実・強化を求める意見書
- ・義務教育の更なる充実を求める意見書
- ・摂食障害対策支援の充実を求める意見書
- ・米軍機のトラブル発生時における情報提供の改善を求める意見書
- ・酒造りを手厚く保護する取組の充実を求める意見書
- ・伝統工芸品産業の持続可能な振興に向けた支援強化を求める意見書
- ・地方消費者行政を安定的に推進するための取組の強化を求める意見書
- ・事前復興まちづくり計画の策定に向けた取組の加速化を求める意見書
- ・診療報酬の引上げを求める意見書
- ・訪問介護の基本報酬の引上げ及び事業所経営再建への支援を求める意見書



議員提出議案

本会議での主な審議



〇〇議員の質問質疑



〇〇知事・部長等の答弁

議論1 物価高騰対策



**Q** 物価高騰や米国による関税措置の影響を受けている県内の産業に対し、どのように支援していくか。

**A** 米国による関税措置は、製造業をはじめ多くの産業に多大な影響を及ぼすことが懸念されている。こうした中、経済団体等との意見交換や、県内中小企業を対象に実施した調査を踏まえ、事業者への必要な支援策を「長野県物価高騰・米関税措置支援パッケージ1.0」として取りまとめた。

経営基盤の強化や産業構造の転換への支援を通じて、本県産業の持続的な発展のため全力を尽くしていく。

**Q** 米の価格の適正化と安定化のための対策が必要ではないか。

**A** 国では、適正な価格形成のための新たな仕組みづくりに着手しているところ。

県としても、「長野県産米確保・流通等検討会議(仮称)」を設置し、生産・流通・消費など、米に関わる様々な方と実態や課題を共有するとともに、将来を見据えた解決策などを検討していく。

議論3 安全・安心な暮らし



**Q** 昨年度、熱中症による救急搬送者の6割が高齢者であった。高齢者の熱中症対策にどう取り組んでいくか。

**A** 長野県でも年々猛暑日が増加しており、熱中症が命に関わる重大な健康リスクとなっている。

今年度は、高齢者にも身近なコンビニエンスストアにおいて広報を行うほか、県公式SNSでの発信により、熱中症対策について広く県民へ啓発を行う。こうした取組により、高齢者本人への意識づけのほか、家族など周りの方々による見守りや声掛けにもつながってきたい。

**Q** 長野県警察安全・安心アプリ「ライポリス」はどの程度利用されているか。また、今後どのようにアプリを活用していくか。

**A** アプリの利用者数は約3万3,000人となっており、大変好評をいただいている。また、利用者からは、「住んでいる地域の不審者出没情報や、電話でお金詐欺の発生状況が地図上で見られるのでわかりやすい」、「防犯や交通ルールのクイズがためになる」といった声が寄せられている。

今後も利用者のニーズに応じた機能の追加等を行い、タイムリーでわかりやすい情報発信を行っていく。

議論2 人材育成・職場環境の整備



**Q** 県内の看護専門学校において、入学者の減少により定員を削減する動きがある。人材不足が懸念される中、どういった支援や取組を行うか。

**A** 入学者の減少は、今後の看護人材確保に向けた課題であると認識している。県では、看護専門学校等への就学を促進するため、県内病院や高校の進路指導担当者との情報交換や、社会人に対するリカレント教育等に取り組んでいるところ。

今後、こうした取組を、学校や医療関係者と連携を図りながら着実に進めるとともに、職場環境改善の推進や復職支援についても取り組み、必要な看護人材の確保に努めていく。

**Q** 時間や場所に制約があっても、働きたい誰もが働ける機会を創出するため、市町村と企業が連携して、時短業務の開発やテレワーク環境の整備を進めている事例がある。こうした取組を、全県に広めていくべきではないか。

**A** 県では令和5年度から、市町村を対象に勉強会を開催し、先進自治体や類似サービスを提供する事業者を講師として、円滑な事業導入につながるよう説明を行っている。その結果、類似の取組を行う自治体数が、令和元年の3から現在8まで広がってきた。今後も勉強会を継続し、県全体に取組が拡大するよう努めていく。

議論4 学びの充実、平和の継承



**Q** 個別最適な学びを実現するため、フリースクール等の外部機関と学校との連携が必要ではないか。

**A** 不登校児童生徒の増加に伴い、学校外の多様な学びの場では子どもたち一人ひとりの状況に即した学びへの支援が行われており、フリースクール等との連携は不可欠である。

県では、昨年度から学校とフリースクール等との連携のため、教育事務所に「不登校支援機関連携推進員」を配置し、連携の強化に取り組んでいる。今後も、子どもの学びの保障が行われるように取り組んでいく。

**Q** 長野県と沖縄県は交流連携協定を締結し、様々な分野で交流を行っている。今年は戦後80年を迎えることから、平和をテーマにした交流も深めていくべきではないか。

**A** 今年度から、両県の若者が相互に訪問し、自然・歴史・文化の学習等を行う若者交流事業を新たに実施する。若者に平和の大切さを理解してもらうことは重要なので、沖縄での交流プログラムでは、信濃の塔がある平和祈念公園の訪問や、佐久市と関わりが深い糸洲の壕(いとすのこう)\*の見学の実施を検討したい。

\*沖縄戦で野戦病院として使用された戦跡

常任委員会の活動

各委員会では、6月定例会において、付託議案、所管事項に関する質疑等及び請願・陳情の審査を行いました。各委員会の委員長報告は、県議会ホームページでご覧いただけます。また、議会の閉会中には、県の現地機関の調査、企業や団体等の視察、関係者との意見交換などを行っています。



総務企画警察委員会

【主な質疑事項等】

・外国人による交通事故等への対応について  
・ふるさと納税制度について  
・県有施設の有効活用について





県民文化健康福祉委員会

【主な質疑事項等】

・長野県150周年記念事業について  
・長野県人権尊重の社会づくり条例(仮称)について  
・医療提供体制のあり方について



現地調査(6月2日～3日 北信・中信・南信)  
伊那保健福祉事務所など現地機関の調査や、フリースクールなどの視察を行いました。



伊那合同庁舎での調査

産業観光企業委員会

【主な質疑事項等】

・米国関税措置等への対応について  
・宿泊税の活用について  
・AIを活用した水道管の劣化診断について



現地調査(6月9日～10日 中信・南信)  
松本地域振興局など現地機関の調査や、観光振興を推進する農業大学校などの視察を行いました。



八ヶ岳農業大学校の視察

農政林務委員会

【主な質疑事項等】

・松本食肉施設の移転新設について  
・米の価格高騰への対応について  
・県産材の利用促進について



現地調査(6月5日～6日 南信)  
南信州地域振興局など現地機関の調査や、飯島町の町有林などの視察を行いました。



飯島町横沢町有林の視察

危機管理建設委員会

【主な質疑事項等】

・耐震化の推進について  
・砂防事業の進め方について  
・松本空港へのオスプレイ着陸に伴う対応について



現地調査(7月23日～25日 東信・北信)  
消防学校などの現地機関や、県道坂城インター線の整備状況などの調査を行いました。



消防学校の調査

環境文教委員会

【主な質疑事項等】

・教員の業務の削減について  
・教員不足への対応について  
・屋根ソーラーの普及促進について



現地調査(5月27日～28日 中信・東信・北信)  
松本深志高等学校など現地機関の調査や、インターナショナルスクールなどの視察を行いました。



インターナショナルスクールオブ長野の視察

最近の議会の取組

長野県議会では、県民に身近で開かれた議会となるよう、様々な活動に積極的に取り組んでいます。

○議会基本条例検証調査会を設置しました

県議会では、平成21年に議会基本条例を制定して以降、様々な県政課題の解決に向けて取り組んできました。  
本条例が制定されてから16年が経過し、社会情勢も大きく変化していることから、任意の調査会を設置し、条例の趣旨に基づいた議会活動が十分に行われているか検証を行います。

○県民の皆さんと意見交換を実施します

身近で開かれた県議会を目指して、議長、副議長、広報担当の議員が地域の方々と意見交換を行う「こんにちは県議会です」を実施します。  
開催日：令和7年9月11日(木)  
開催場所：長野県庁 本会議場傍聴席及び議会棟会議室  
テーマ：障がいに対する理解と暮らしやすい地域づくりに向けた施策について  
参加団体(予定)：長野県聴覚障害者協会、信州難聴者協会  
※詳細については、後日県議会ホームページで公表します。

○小学生等の議場見学

議長、副議長と広報担当の議員が中心となって、県議会の役割や仕組みなどをパネルを使い、わかりやすく説明しています。



○決算特別委員会を設置しました

調査事項

一般会計、特別会計及び企業特別会計の決算の認定に関する事項等

委員長

花岡 賢一(改)

副委員長

青木 崇(自)

委員

宮本 衡司(自)

寺沢 功希(自)

宮下 克彦(自)

大井 岳夫(自)

垣内 将邦(自)

荒井 武志(改)

竹村 直子(改)

奥村 健仁(新)

勝野 智行(公)

山口 典久(共)

※(自)自由民主党県議団、(改)改革信州、(新)新政策議員団、(公)公明党長野県議団、(共)日本共産党県議団

9月定例会日程

【会期16日間】

▽9月25日(木) 開会

▽9月30日(火)～10月3日(金)

一般質問及び質疑

▽10月6日(月)～10月8日(水)

各委員会

▽10月9日(木)

総務企画警察委員会

▽10月10日(金) 閉会

議会活動の情報を発信しています。ぜひご覧ください。



県議会ホームページ

インターネット中継もやってます！



県議会X

議会の傍聴にぜひお越しください。各種サービスはこちらから。



託児サービス



手話通訳・要約筆記

「こんにちは県議会です」は、県議会定例会後に発行しています。議会広報に関するお問い合わせは長野県議会事務局調査課まで  
〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2  
TEL 026-235-7414(直通) ●FAX026-235-7363  
●Eメール chosa@pref.nagano.lg.jp